

臨床工学技士との協働による 内視鏡看護の充実

米沢市立病院 救急室 船山ヒロ子

米沢市立病院概要

- 病床数：322床
ICU(5床) 一般(263床) 地域包括ケア(54床)
- 入院基本料：一般(7:1) 地域包括ケア(13:1)
- 診療科：38科
- 平均在院日数：9.6日
- 職員数：593人
- 看護部職員数：326人



職場の概要

- ◎救急室は救急業務の他に内視鏡業務・放射線業務を兼務し、夜間・休日の緊急検査にも対応
- 昨年度救急患者数7,951/年
- 救急室が担う、内視鏡検査総数は3,500件/年実施
- 内視鏡検査は、消化器内科医2名、看護師3名、看護補助者2名が配置

取り組みの背景

- 内視鏡検査に関わるスタッフの不足
看護の安全性が保たれない
- 多様化する内視鏡治療と機器管理が保たれない

2020年より臨床工学技士が
内視鏡室に配置された

目的

1. 臨床工学技士の配置による、
タスクシフトについて検討する
2. 臨床工学技士が内視鏡業務に介入することで、
内視鏡看護の充実に繋がる

取り組み内容

- ① 内視鏡の業務内容を洗い出し、業務を分担
- ② 臨床工学技士の役割をスタッフ間で理解し共有
- ③ 臨床工学技士と内視鏡業務について検討
- ④ 臨床工学技士の知識と技術の向上を図る

◎内視鏡マニュアルを用いて検査を理解する

- ・ 検査の目的・治療
- ・ 検査の流れ
- ・ 処置具
- ・ 洗浄後の定期点検、消耗品交換
- ・ 必要なメンテナンス

◎直接介助はシミュレーションで実施する

- ・ 生検、処置具の使用と介助

取り組みの成果



臨床工学技士への タスクシフト業務

- 直接介助
- 検査前後の内視鏡セッティング
- 胆膵内視鏡検査の機器設定と準備
- 機器トラブル時の対応
- 機器のメンテナンス
- スコープ、洗浄装置の感染管理



医師

内視鏡処置や治療時の直接介助や
胆膵内視鏡検査時の介助で業務軽減



- ・ 検査、治療が並列に出来た
- ・ 検査、治療時間の短縮に繋がった
- ・ スムーズに検査、治療が出来るようになった



看護師

- ・ 検査前の内視鏡のスコープセッティング・洗浄消毒、胆膵内視鏡検査の器機設定と準備・治療
- ・ 内視鏡時の処置具の準備・機器トラブル時の業者との連絡の業務の委譲



- ・ 患者側で観察や声かけが出来る時間が多くなった
- ・ 看護師本来の役割が発揮出来る事に繋がった



看護補助者

スコープの洗浄や消毒、物品の請求や薬液交換保守点検、
機器トラブル時の対応の委譲



スコープの消毒や物品に関して、気軽に相談でき、
安心して実施できるようになった



臨床工学技士が検査に
入ってもらおうと、
患者対応ができるようになった



内視鏡技師の免許を
取りたい
やりがいがあります

看護の充実

結 論

- 急変を予測し、状況判断して行動出来た患者が安全に検査が出来た
- 患者の観察、アセスメントし看護が可能となった
- 医師を含め、内視鏡検査全体のコーディネートが可能となり、検査が円滑に進めた
- 看護師が時間に追われず、精神的に負担が軽減

まとめ

1. 臨床工学技士がチームの一員として内視鏡業務に対応することにより、タスクシフトにつながった
2. 内視鏡の安全性と内視鏡看護の充実が図られ、看護師本来の役割が発揮できるようになった

今後の展望

お互いの専門職の強みを大切にし、
チームとして一緒に学ぶ姿勢で、
業務改善に取り組んでいく